



## PRESS RELEASE (2009/11/05)

グラミン・グローバル・ミーティング (GGM : 2009年11月7日、ドイツ・ベルリン) で九州大学との連携取組を発表

### 概要

九州大学とユヌス・センター (代表: ムハマド・ユヌス博士、2006年ノーベル平和賞受賞者、バングラデシュ、ダッカ) (YC) は、開発途上国向けの技術・ノウハウおよび製品を開発するためのコンソーシアム、「グラミン・テクノロジー・ラボ (GTL)」を、また同氏が提唱する「ソーシャル・ビジネス」の研究・教育、調査および普及のために「グラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学 (GCL@九大)」をそれぞれ設立するため、2009年9月27日に覚書を締結しました。

このたび、2009年11月7日にドイツ・ベルリン開催される第一回 グローバル・グラミン・ミーティング (GGM) に九州大学から安浦寛人理事、岡田昌治特任教授らが出席し、九州大学での取り組みを発表することになりました。

### 背景

九州大学は、ユヌス氏が1983年に創設したグラミン銀行を中心とするグラミン・ファミリーの一社であるグラミン・コミュニケーションズ社と2007年7月に交流協定を結び、開発途上国における社会情報基盤モデル構築のための開発協力を行っています。また、今年8月には、JETROと「バングラデシュにおける社会基盤確立に向けたマイクロクレジットの電子化に関わる実証実験」について業務請負契約を締結し、グラミン銀行との実証実験を展開することになっています。

また、九州大学はYC及びNTTとの間で、開発途上国で有益・有効な技術・ノウハウおよび製品の検討を行う場としてのGTLを福岡に創設するための覚書を、また、YCとの間でユヌス氏が提唱する「ソーシャル・ビジネス」の研究・教育、調査および普及のためのグラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学 (GCL@九大) を九州大学内に設立するための覚書を2009年9月27日に締結しました。

### 内容

今回、ベルリンで開催されるGGMは「ソーシャル・ビジネス」の大会として、ユヌス氏が開催する最初の大会であり、ユヌス氏のもと、世界中のGCLや「ソーシャル・ビジネス」に賛同した世界中の企業・大学のトップが集まります。

GGMでは、各企業や大学での現状やこれからの画期的な取り組みについて、意見を交換し、世界に向けて発信するもので、世界の注目を集めるものとなります。

九州大学からは、安浦寛人理事、岡田昌治特任教授らが出席し、GCL@九州大学およびGTLを中心として、ソーシャル・ビジネスの普及・展開における大学の役割等について発表することになっています。

日時: 2009年11月7日 12時~22時

会場: Autostadt, Wolfsburg, ドイツ (ベルリン郊外)

記者会見 13時から14時 (岡田昌治特任教授出席)

※GGMの詳細については、添付ファイルを参照願います。

### 効果

GGMはユヌス氏の取り組みに賛同し、パートナーシップを結んだ、世界の企業や大学が一同に会し、貧困問題をはじめとした様々な問題を解決する新しいビジネス「ソーシャル・ビジネス」を始めた新しい国際貢献のあり方を議論し、新たなプロジェクトを提案する場です。

今回、九州大学も GGM に参加することにより、世界の大学でも例を見ない GTL という技術オリエンティッドではなく、ニーズオリエンティッドな技術開発の国際的コラボレーションとしての国際貢献の形や提案や様々な問題解決の方法を提案、アピールし、貢献できるものと考えています。

**【お問い合わせ】**

知的財産本部特任教授 岡田 昌治

電話：092-642-7031

FAX：092-642-7128

Mail：[okada@imaq.kyushu-u.ac.jp](mailto:okada@imaq.kyushu-u.ac.jp)